

## 健康診査及相談規定

### 第一 診査・相談

第一條 當部ハ需ニ應ジテ左ノ四類ノ事項ヲ爲スモノトス

第一類 職業及事業ノ堪否診査

航海ノ堪否診査

就學・兵役・就職ノ體格診査

結婚男女體質・體格ノ適否診査

乳母ノ適否診査等

第二類 一般疾病ノ有無・病症ノ診査

雇人疾病有無ノ診査

身體異常・弱點ノ診査等

第三類 體力増強法ノ指示

一定疾病ノ攝養法及治療法指示

身體ノ異常・弱點ノ矯正法指示

急性及慢性傳染病豫防法指示

體質・遺傳等ニ因ル疾病豫防法指示

配偶體質ノ撰擇法指示

第四類 衛生上各種ノ相談

### 第二 診査

第二條 診査ハ其目的ニヨリ甲乙二種ニ別ツ

甲種診査

身體ニ異常ヲ感シ而モ其原病不明ナル時ノ如キ、又異常感ノ有無ニ關セズ身體全部失常ノ有無ヲ檢定セントスルガ如キハ全身ノ内外各臟器系統ヲ審査スルノ必要アリ、又場合ニヨリ各種分泌排泄物ノ化學的又ハ顯微鏡的試驗ヲ并セ行ハサル可カラズ、是レ身體診査ノ最モ周密ナルモノニシテ此診査ニハ「第一號診査證」ヲ交附ス

特ニ請求アリ本院ニ於テ差支ナシト認ムルモノニ限リ詳細ナル診査原簿ノ寫ヲ交附スルコトアルベシ

此診査ハ一回ニシテ終了セズ、二回以上ノ來院ヲ要スルコトアルベシ

乙種診査

學校入學又ハ一定事業ノ堪否ヲ決スルガ如キハ普通ノ體格體質ト應用スベキ局部ノ健否強弱トヲ診査スルヲ以テ足レ

リトス、普通ノ體格檢査即チ之レナリ此診査ニハ「第二號診査證」ヲ交附ス

### 第三 指 示

第三條 本院ノ相談ヲ受ケ、又ハ指示スヘキ事項概ネ左ノ如シ

一 前條ノ診査ヲ經タル上ニ諸種ノ指示又ハ證明ヲ望ムモノ

二 病症・異常等既ニ明白ナルモノニシテ其攝生法・處置法等ノ指示ヲ望ムモノ

三 邸地・家屋ノ構造・衛生上ノ適否其消毒・飲料水・牛乳・母乳・其他飲食物ノ良否・溫泉・海濱・轉地先ノ適否・其他衛生上ノ事項ニ就キ説明示指ヲ望ムモノ

第四條 前條第二項ハ本院ノ診査ヲ要セス、單ニ醫師ノ診斷書・檢査證・證明書・處方・當人親戚又ハ友人（責任アル）ノ陳述ニ基キ其質問・相談ニ對シ「指示要領」ヲ交附シ、其攝養法・治療法・矯正法・處置法等ヲ指示ス、但シ要求ノ事項明白ナラザルトキハ當院ノ診査ヲ要スルコトアル可シ

第五條 患者ハ必ズシモ本院ノ治療ヲ受クルヲ要セズ、且希望ニヨリ適當ナル専門家ヲ指示又ハ紹介シ、或ハ特別ノ場合ニ於テ處方箋ヲ交附スルコトアル可シ

### 第四 疾病ノ處置

### 第五 委囑手續

第六條 身體診査ハ日曜日ヲ除キ午後一時ヨリ午後四時マデニ當人來院セラル可シ、但シ特ニ出張ヲ望マル、向ハ電話又ハ其  
他ノ方法ヲ以テ申込マル可シ

第七條 相談又ハ質疑事項ハ信書ニテ申込ル、モ妨ゲナシ

第六 料 金

第八條 普通診査料ハ左ノ如シ

甲種診査料 金拾圓以上

但シ診査原簿寫ヲ要求スルトキハ其料トシテ更ニ金壹圓ヲ申受クベシ

乙種診査料 金五圓以上

指 示 料 金貳圓以上

學生又ハ貧困者ハ必シモ本條ニ據ラザルコトアリ

第九條 頻次又ハ多數ノ診査ヲ囑セラルトキハ特ニ料金ヲ約スルコトアルベシ

第十條 専門家紹介・處方箋交附ハ相當ノ手数料・衛生又ハ保健上ノ検査ニシテ出張ヲ要スルトキハ相當ノ實費ヲ申受クベシ

第十一條 第三條第三項ノ検査ニシテ既ニ本院ノ規程アルモノハ之レニ由リ、其他ハ相當ノ料金ヲ申受クヘシ

第十二條 委囑事項ノ信書ニハ必ズ返信用郵券ヲ添ヘラル可シ

東京顯微鏡學會規則

(昭和十年十一月改定)

目 的

第一條 本會ハ顯微鏡術・微生物學・傳染病學・免疫學・衛生學・診斷學・臨床醫學等ノ研究ニ資シ、兼テ會員相互ノ懇親ヲ  
謀ルヲ以テ目的トス

名 稱・位 置

第二條 本會ヲ東京顯微鏡學會ト稱シ、事務所ヲ東京市麴町區九段四丁目一五番地東京顯微鏡院内ニ置ク

組 織

第三條 本會ハ何人ニ限ラズ斯學有志ノ士ヲ以テ會員トス

第四條 本會々員ヲ左ノ二種トス

甲會員 乙會員

甲會員ハ會費毎月金一圓ヲ納ムルモノ、乙會員ハ同ジク年額三圓ヲ納ムルモノトス

第五條 本會々員タラント欲スルモノハ其宿所姓名ヲ記シ會費ヲ添ヘテ事務所ニ申込ムベシ

第六條 本會々長ハ評議員會ノ決議ニヨリ會員中ヨリ之ヲ推薦シ、評議員若干名ハ會員中ヨリ投票ヲ以テ之ヲ選舉シ、評議員  
ハ五選ヲ以テ幹事十名ヲ舉ゲ

但シ本會役員ハ東京市及隣接町村在住會員ヨリ選出ス、其任期ハ貳ケ年トス

第七條 會長ハ會務ヲ總理シ、評議員ハ本會重要ノ事項ヲ審議シ、幹事ハ會務ヲ分掌ス

事 業

第八條 毎年四月、十月、東京ニ於テ講演會ヲ開キ斯學ニ關スル講演ヲナシ、毎年一月定期總會ヲ開キ會計庶務ノ報告、役員  
ノ選舉・議事・講演等ヲ舉行ス

臨時總會又ハ臨時講演會ハ會長ノ必要ト認メタルトキ又ハ評議員半數以上ノ請求アリタル時之ヲ開催ス

第九條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲メ毎年六回東京顯微鏡學會雜誌ヲ發行シ、斯學ニ關スル内外ノ新説ヲ網羅シ、會員研  
究ノ資料トス

第十條 本會ハ東京顯微鏡院トノ協約ニヨリ會員ニ對シ左ノ特種待遇ヲナス

(一) 甲會員ハ診斷検査ヲ特別便宜ノ方法ヲ以テ東京顯微鏡院ニ囑托スルコトヲ得

其方法ハ別ニ定ムル所ノ「診斷検査規程」ニ據ル

乙會員ニシテ診斷検査ヲ東京顯微鏡院ニ依頼スルトキハ同院ハ普通検査料ノ二割減ヲ以テ之ニ應ズ

- (二) 會員ニシテ東京顯微鏡院ノ製品(藥品・細菌製劑・標本・培養壤等)ヲ購求セラル、トキハ定價ノ一割乃至二割ヲ低減ス
- (三) 會員ハ東京顯微鏡院ノ承諾ヲ得テ顯微鏡其他ノ器械藥品等ヲ使用シ研究スルコトヲ得  
但シ此場合ニ於ル研究上ノ實費ハ自辨タルベシ
- (四) 會員ハ東京顯微鏡院設備ノ放射線科ニ診斷及治療ヲ囑托スルトキハ院ハ特別便宜ノ方法ヲ以テ之ニ應スベシ、其方法ハ別ニ定ムル所ノ「放射線診療規程」ニ據ル
- (五) 會員ハ東京顯微鏡院設備ノ醫學圖書室ニ就キ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得、但シ料金を要セズ
- (六) 會員ヨリ斯學ニ關スル質問アルトキハ詳細ニ之ヲ辯明シ、且ツ書籍・器械・藥品等ノ良否檢定或ハ購入等ノ委囑アルトキハ懇切ニ其勞ヲ取ルベシ

會計

第十一條 甲會員ノ會費ノ十二分ノ九ハ檢査囑托ノ費用トシテ東京顯微鏡院ニ支拂ヒ、他ノ十二分ノ三及乙會員會費ノ全部ヲ以テ一切ノ經費ニ充ツルモノトス

雜件

第十二條 此規則ハ總會ノ決議ヲ經且東京顯微鏡院ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ變更スルコトヲ得ズ

附則

第十三條 從來ノ鏡友會員ハ凡テ甲會員トス

東京顯微鏡學會診斷檢査規程

(昭和十四年一月改定)

第一條 本規程ハ本會々員中主ニ東京市郡在住實地家ガ日常多忙ナル業務ノ間ニ於テ日進醫學ニ伴フ理想的診斷ヲ遂ゲンガ爲メ本會規則第十條第一項ニ據リ設クルモノトス

第二條 會員ニシテ檢査物アルトキハ電話(又ハ郵便)ヲ以テ東京顯微鏡院ニ通報スベシ

檢査物ニハ所定ノ送票ヲ附スベシ

第三條 東京顯微鏡院ハ市内會員ヨリ前條ノ通報ヲ受ケ毎日午前午後ノ二回(日曜祭日ハ午前一回)廻集人ヲ派出シ檢査物ヲ

取集メ檢査終了後郵便ヲ以テ其成績ヲ報告ス、但シ急性傳染病關係ノ試驗成績ハ電話ニテ報告ス

廻集ヲ待ツ能ハザル至急ノ檢査物ハ會員各自ヨリ直接送付スベシ

郵便到達以前ニ於テ成績ヲ知ラントスル場合ハ電話ヲ以テ承合セラルベシ

第四條 送票用紙及檢査物ノ容器ハ實費ヲ以テ供給スベシ

第五條 會員ハ其委託セル檢査一件ニ付キ左ノ實費ヲ納付スルモノトス

	甲會員	乙會員
一、尿、糞便、咯痰等ノ鏡檢及化學的檢査	・三〇	・五〇
但一個ノ檢査物體ニ付キ數種ノ檢査ヲ行フモ凡テ一件トス		
二、うゐだー氏反應	・五〇	・五〇
三、微菌培養(ちふす菌、赤痢菌其他)	一〇〇	一〇〇
四、微毒血清反應(わつせるまん氏反應及村田氏沈降反應併試)	・八〇	一〇〇
五、血液型檢査	一〇〇	一〇〇
六、血球種類算定	三〇〇	三〇〇
七、胃液檢査	一〇〇	一〇〇
八、病理組織檢査	三〇〇	三〇〇
九、妊娠反應(つをんでつく氏法、家兎使用)	三〇〇	三〇〇
十、自家わくちん調製	二〇〇	二〇〇

其他東京顯微鏡院檢査規定ニ掲グル諸檢査ノ料金ハ所定ノ約二分ノ一ヲ以テ應ズルモノトス

第六條 地方在住者モ此規程ヲ準用スルコトヲ得

但シ第三條第一項ヲ適用セズ、検査物ハ適當ナル方法ヲ以テ送附スベシ

### 放射線科診療規程

(昭和十一年七月改定)

- 一、本院ニ放射線科ヲ置キ深部レントゲン發生機ヲ裝置シ(電壓ハ三十萬「ボルト」ニシテ〇・一〇A時ノ一般條件ニヨル一〇厘深部量ハ一二六「r」(表面量六〇〇「r」トシテ)ヲ容易ニ出シ得ルモノナリ) 開業醫家諸君ノ指定、紹介、委託及處方ニ依リ診療及治療ヲ行フ
- 二、診療ハ毎日(日曜、祭日ヲ除ク)午後一時ヨリ四時迄トス
- 三、診断ヲ依頼スルトキハ患者ニ其姓名、年齢、臨牀上ノ診断、病變ノ位置ヲ記載シタル依頼書ヲ持參セシメラレタシ(依頼票ハ本院ヨリ交附ス)

◎食道、胃腸ノ診断ヲ要スル場合ハ當日早朝ヨリ絶食(湯水等モ)セシムルコト

「ギブス」繃帶又ハ副木ヲ施シタルモノハ一時取りハツシ得ル様準備シ置カレタシ

- 四、レントゲン診断報告書ニハ病變部ノ圖解及詳細ナル説明ヲ記シ寫眞ヲ添フルモノトス
- 五、診断料 金

診断ノ種類ニヨリ又顯微鏡學會員ト一般依頼者トニ依リテ左ノ如ク規定ス

診 断 種 類	一般依頼者	學 會 員
イ種 消化機系ノ診断ニシテ造影劑ヲ應用シ、四ツ切板ヲ使用スルモノ	一二 <sub>円</sub>	一〇 <sub>円</sub>
ロ種 心、肺、胸部ノ診断ニシテ大陸板ヲ使用スルモノ	一一	八
イロ種以外ノ疾患ニシテ六ツ切板ヲ使用スルモノ	一〇	七
ハ種 ハツ切板ヲ使用スルモノ	五	
ニ種 齒科	三	
ホ種 其他一般ニ透視ノミヲ行フモノ(造影劑使用ノ場合ハ金壹圓ヲ増徴ス)	二	
ヘ種 出張レントゲン寫眞撮影(標準四ツ切板)	一一	二
ト種 特殊診断 寫眞數葉使用)	一一	三

ハ種 ハツ切板ヲ使用スルモノ  
 キヤビネ板ヲ使用スルモノ  
 ニ種 齒科  
 ホ種 其他一般ニ透視ノミヲ行フモノ(造影劑使用ノ場合ハ金壹圓ヲ増徴ス)  
 ヘ種 出張レントゲン寫眞撮影(標準四ツ切板)  
 遠距離ノ場合ノ料金ハ特ニ相談ニ應ズ  
 ト種 特殊診断 寫眞數葉使用)  
 難易ニ依リ其都度料金ヲ定ム(凡ソ參拾圓以上)

- 六、治療料 金
- 出張レントゲン撮影ニ要スル往復ノ費用ハ依頼者ノ負擔トス
- 普通表在治療ノ料金ハ十分時迄金貳圓、更ニ五分時ヲ増ス毎ニ五拾錢ヲ加フ
- 深部治療ノ料金ハ一放射(二〇分以上)金五圓乃至拾圓トス
- 人工太陽燈ノ治療料金ハ十分時迄一般依頼者金壹圓、學會員金八拾錢、更ニ五分時ヲ増ス毎ニ參拾錢ヲ加フ
- ◎診断料金、治療料金及各費用ハ即時納付ノコト

### レントゲン診療適應疾患

- 一、レントゲン診断ハ一疾患ノ存否ヲ明示シテ臨牀上ノ診断ヲ助成スル手段トナルノミナラズ、臨牀上發見困難ナル病變ノ進行情度ヲモ正確ニ診定スルコトヲ得ルモノトス
- 二、レントゲン診療ヲ適應スベキ疾患ハ斯道ノ進歩ト共ニ範圍ヲ益々擴張スト雖モ、今其主ナルモノ數例ヲ擧ゲテ實地醫家ノ參考ニ供ス

甲 診 斷

一、全般ノ骨疾患 骨外傷(骨折、脱臼)、骨結核(脊椎、骨盤等ノ「カリエス」、骨腫瘍、骨梅毒、骨膜炎、關節疾患、異物  
 診斷等  
 二、内科的疾患 全般ノ肺臟及心臟ノ疾患、縱隔膜竇疾患、食道及胃腸疾患、腎臟、膀胱及尿道等ノ結石、膽囊疾患等  
 三、其他内科、小兒科、外科、整形外科、皮膚泌尿科、産婦人科、眼科、耳鼻科、精神科、齒科等  
 四、特殊診斷法 ブロンコグラフィキー(氣管造影法)、プノイモベリトネウム(腹腔内瓦斯注入法)、コレチストグラフィキー  
 (膽囊造影法)、ピエログラフィキー(腎盂造影法)、メトロザルビンゴグラフィキー(子宮喇叭管造影法)  
 但シ本法ハ準備ノ都合モアレバ豫メ御通知ヲ乞フ

乙 治 療

頸部淋巴腺結核、肺門淋巴腺結核、其ノ他一般淋巴腺炎、肺結核(慢性ノモノ)、結核性腹膜炎、外科的結核症ノ内骨結核、關節結核、一般皮膚疾患及腋下臭、甲状腺腫、癌腫(主トシテ子宮癌、皮膚癌、乳癌、直腸癌等)、肉腫、筋腫(特ニ子宮筋腫)、カストラチオン等

東京顯微鏡學會規則

(昭和十年十一月改定)

第一條 本會ハ顯微鏡術、微生物學、傳染病學、免疫學、衛生學、  
 診斷學、臨床醫學等ノ研究ニ資シ兼テ會員相互ノ懇親ヲ謀ルヲ以  
 テ目的トス  
 第二條 本會ヲ東京顯微鏡學會ト稱シ事務所ヲ東京市麴町區九段四  
 丁目一五番地東京顯微鏡院内ニ置ク  
 第三條 本會ハ何人ニ限ラズ斯學有志ノ士ヲ以テ會員トス  
 第四條 本會ハ左ノ三種トス  
 甲會員ハ會費毎月金一圓ヲ納ムルモノ、乙會員ハ同ジク年額三圓  
 ヲ納ムルモノトス  
 第五條 本會々々員タルト欲スルモノハ其宿所姓名ヲ記シ會費ヲ添  
 ハテ事務所ニ申込ムベシ  
 第六條 本會々々長ハ評議員會ノ決議ニヨリ會員中ヨリ之ヲ推薦シ評  
 議員若干名ハ會員中ヨリ投票ヲ以テ之ヲ選舉シ評議員ハ互選ヲ以  
 テ幹事十名ヲ舉グ  
 但シ本會役員ハ東京市及隣接町村在住會員ヨリ選出ス、其任期  
 ハ二年トス  
 第七條 會長ハ會務ヲ總理シ評議員ハ本會重要ノ事項ヲ審議シ幹事  
 ハ會務ヲ分掌ス  
 第八條 毎年四月、十月、東京ニ於テ講演會ヲ開キ斯學ニ關スル講演  
 ヲナシ毎年一月定期總會ヲ開キ會計庶務ノ報告、議事講演等ヲ舉  
 行ス  
 臨時總會又ハ臨時講演會ハ會長ノ必要ト認メタルトキ又ハ評議  
 員半数以上ノ請求アリタル時之ヲ開催ス  
 第九條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲メ毎年六回東京顯微鏡學會  
 雜誌ヲ發行シ斯學ニ關スル内外ノ所説ヲ網羅シ會員研究ノ資料ト  
 ス  
 第十條 本會ハ東京顯微鏡院トノ協約ニヨリ會員ニ對シ左ノ特種待  
 遇ヲナス  
 (一)甲會員ハ診斷検査ヲ特別便宜ノ方法ヲ以テ東京顯微鏡院ニ囑  
 託スルコトヲ得  
 (二)乙會員ハ別ニ定ムル所ノ「診斷検査規程」ニ據ル  
 其方法ハ別ニ定ムル所ノ「東京顯微鏡院ニ依頼スルトキハ同院ハ  
 普通検査料ノ二割減ヲ以テ其囑ニ應ズ

(二)會員ニシテ東京顯微鏡院ノ製品、藥品、細菌製劑、標本、培  
 養液等ヲ購求セラルトキハ定價ノ一割乃至二割ヲ低減ス  
 (三)會員ハ東京顯微鏡院ノ承諾ヲ得テ顯微鏡其他ノ器械藥品等ヲ  
 使用シ研究スルコトヲ得  
 (四)會員ハ東京顯微鏡院設備ノ放射線科ニ診斷及治療ヲ囑託スル  
 トキハ院ハ特別便宜ノ方法ヲ以テ之ニ應ズベシ、其方法ハ別ニ  
 定ムル所ノ「放射線診療規程」ニ據ル  
 (五)會員ハ東京顯微鏡院設備ノ醫學圖書室ニ就キ圖書ヲ閱覽スル  
 コトヲ得、但シ料金ヲ要セス  
 (六)會員ヨリ斯學ニ關スル質問アルトキハ詳細ニ之ヲ辯明シ且ツ  
 書籍、器械、藥品等ノ良否檢定或ハ購入等ノ依頼アルトキハ懇  
 切ニ其勞ヲ執ルベシ  
 但シ本條ノ通信費及ビ運送費ハ依頼者ノ自辨タルベシ  
 第十一條 甲會員ノ會費ノ十二分ノ九ハ検査囑託ノ費用トシテ東京  
 顯微鏡院ニ支拂ヒ他ノ十二分ノ三及乙會員會費ノ全部ヲ以テ一切  
 ノ經費ニ充ツルモノトス  
 第十二條 此規則ハ總會ノ決議ヲ經且東京顯微鏡院ノ承認ヲ得ルニ  
 非ザレバ變更スルコトヲ得ズ  
 第十三條 從來ノ鏡友會員ハ凡テ甲會員トス

昭和十五年十一月二十日印刷  
昭和十五年十一月二十五日發行

本誌一 部定價 金五十錢

發行兼編輯者 東京市麴町區九段四丁目十五番地 三石 信三  
 印刷者 東京市芝區愛宕町二丁目十四番地 渡邊 丑之助  
 印刷所 東京市芝區愛宕町二丁目十四番地 愛宕印刷株式會社  
 東京市麴町區九段四丁目十五番地 財團東京顯微鏡院内

發行所 東京顯微鏡學會

振替貯金口座東京五五六三三番  
 電話九段(33) 三〇四六七番  
 三八六二番